

# 2021年3月期 決算 説明資料 (7月9日訂正)

2021年5月14日  
日本貨物鉄道株式会社

**1. 2021年3月期 決算**

**2. 2022年3月期 業績見通し**

**3. 主な取組みの進捗状況**

# 1. 2021年3月期 決算

## 連結経営成績

(単位：億円、単位未満切捨て)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	対前年同期	
			増減	%
営業収益	1,989	1,873	-115	-5.8
営業費用	1,888	1,848	-40	-2.1
営業利益	100	25	-75	-74.9
経常利益	89	14	-75	-83.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	50	0	-49	-98.6

## 単体経営成績

営業収益	1,610	1,502	-107	-6.7
営業費用	1,524	1,491	-33	-2.2
営業利益	85	10	-74	-87.4
経常利益	71	0	-71	-99.1
当期純利益	39	0	-39	-99.8

- 新型コロナウイルス感染症に伴う需要低迷、令和2年7月豪雨、及び1月の北日本・日本海側地区を中心とした暴風雪等の影響を受け、単体の運輸収入および子会社の利用運送事業収入が**減少**。連結営業収益は**減収**、連結営業利益・経常利益は**減益**。連単ともに経常利益と当期純利益は**黒字を確保**。

# 1. 2021年3月期 決算

## セグメント別状況

(単位：億円、単位未満切捨て)

		2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	対前年同期	
				増減	%
鉄道ロジスティクス事業	営業収益	1,767	1,670	-97	-5.5
	営業利益	-12	-79	-66	—
不動産事業	営業収益	228	207	-21	-9.2
	営業利益	112	101	-10	-9.8
その他	営業収益	102	100	-1	-1.7
	営業利益	-0	0	+0	—

## (単体) 事業別状況

鉄道事業	営業収益	1,429	1,336	-92	-6.5
	営業費用	1,454	1,426	-27	-1.9
	営業利益	-25	-90	-65	—
関連事業	営業収益	180	165	-14	-8.2
	営業費用	70	64	-5	-8.3
	営業利益	110	101	-9	-8.2

- 鉄道ロジスティクス事業は、新型コロナウイルス感染症に伴う需要低迷、令和2年7月豪雨、及び1月の北日本・日本海側地区を中心とした暴風雪等の影響を受け、単体の運輸収入および子会社の利用運送事業収入減により**減収減益**。
- 不動産事業は、子会社の工事受注による建設業収入の増があったものの、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い駐車場収入、テナントからの賃貸収入、単体の温浴施設収入が減少、分譲マンション収入の反動減もあり**減収減益**。

# 1. 2021年3月期 決算

## 連結財政状態

(単位：億円、単位未満切捨て)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	対前期末 増減	備考
資 産	4,177	4,122	-54	流動資産 672億円 (対前期末 -34億円) 固定資産 3,449億円 (対前期末 -20億円)
負 債	3,160	3,104	-56	
純 資 産	1,016	1,018	+1	
自己資本比率	23.1%	23.4%	+0.3	

## 単体財政状態

(単位：億円、単位未満切捨て)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	対前期末 増減	備考
資 産	3,816	3,753	-63	流動資産 492億円 (対前期末 -41億円) 固定資産 3,260億円 (対前期末 -22億円)
負 債	3,073	3,009	-64	当期末長期債務 1,712億円 (対前期末 +99億円) ・有利子債務 810億円 (対前期末 +96億円) ・無利子債務 902億円 (対前期末 +2億円) 建設工事費の支払等による未払金の減 -113億円
純 資 産	742	743	+0	

- 6月に震災・大雨対応型のコミットメントライン（貸付限度額210億円）を導入。当期中の利用なし。

# 1. 2021年3月期 決算

## 連結キャッシュ・フローの状況

(単位：億円、単位未満切捨て)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	対前年同期	
			増減	%
営業活動によるキャッシュ・フロー	323	159	-163	-50.6
投資活動によるキャッシュ・フロー	-200	-315	-115	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	-57	95	+153	—
現金及び現金同等物の増減額	65	-60	-126	—
現金及び現金同等物の期末残高	336	276	-60	-17.9

## 単体キャッシュ・フローの状況

(単位：億円、単位未満切捨て)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	対前年同期	
			増減	%
営業活動によるキャッシュ・フロー	291	116	-174	-59.9
投資活動によるキャッシュ・フロー	-165	-273	-108	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	-73	73	+147	—
現金及び現金同等物の増減額	52	-83	-135	—
現金及び現金同等物の期末残高	256	173	-83	-32.3

- 営業活動によるキャッシュ・フローは利益の減・法人税等支払い増により流入額が減少。投資活動によるキャッシュ・フローは東京レールゲートWEST等の固定資産の取得増で流出額が増加。財務活動によるキャッシュ・フローは長期借入による流入額が増加。連結全体で現金及び現金同等物は60億円減少し、期末残高は276億円。

# 1. 2021年3月期 決算

## 品目別輸送実績表

(単位：千トン、単位未満切捨て)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	対前年同期	
			増減	%
輸送量	29,542	26,990	-2,551	-8.6
コンテナ	20,768	18,837	-1,930	-9.3
農産品・青果物	1,792	1,675	-116	-6.5
化学工業品	1,846	1,599	-246	-13.3
化学薬品	1,371	1,229	-141	-10.3
食料工業品	3,412	3,026	-385	-11.3
紙・パルプ	2,545	2,106	-438	-17.2
他工業品	1,471	1,348	-123	-8.4
積合せ貨物	2,869	2,875	+5	+0.2
自動車部品	890	745	-144	-16.2
家電・情報機器	396	329	-66	-16.8
エコ関連物資	589	623	+33	+5.7
その他	3,584	3,277	-306	-8.6
車扱	8,774	8,152	-621	-7.1
石油	5,914	5,563	-350	-5.9
セメント・石灰石	1,393	1,359	-33	-2.4
車両	873	829	-44	-5.0
その他	593	400	-192	-32.5

- コンテナは、新型コロナウイルス感染症に伴う需要低迷、令和2年7月豪雨及び1月暴風雪等の影響により減少。紙・パルプが国内需要の低迷で大幅減少、自動車部品減少は自動車販売台数減が影響。積合せ貨物は巣ごもり需要により拡大、エコ関連物資は焼却灰等の輸送が順調。車扱は、石油が外出自粛の影響を受け減少。

**1. 2021年3月期 決算**

**2. 2022年3月期 業績見通し**

**3. 主な取組みの進捗状況**



## 2. 2022年3月期 業績見通し

### 連結

(単位：億円、単位未満切捨て)

	2021年3月期 実績	2022年3月期 見通し	対前年同期	
			増減	%
営業収益	1,873	2,013	+139	+7.4
営業利益	25	111	+86	+339.2
経常利益	14	100	+85	+590.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	0	49	+48	—

### 単体

営業収益	1,502	1,638	+136	+9.0
営業利益	10	98	+87	+816.9
経常利益	0	87	+86	—
当期純利益	0	41	+41	—

- 連結営業収益は前年度の新型コロナウイルス感染症の影響からの回復や2021年3月ダイヤ改正でのブロックトレインの新設等により増収、連結営業利益、連結経常利益は増益の見込み。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は増益の見込み。

**1. 2021年3月期 決算**

**2. 2022年3月期 業績見通し**

**3. 主な取組みの進捗状況**

# 鉄道事業の役割発揮と更なる収益性向上

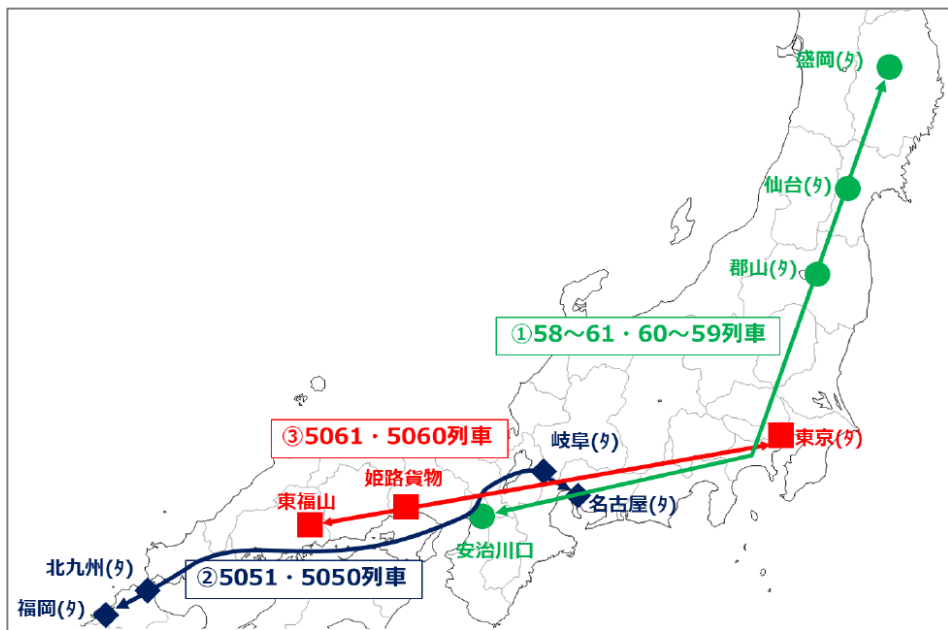
## ■お客様に選択される「環境特性・労働生産性に優れた貨物鉄道」の商品づくり

(2021年3月期の取組み)

- ・ 2021年3月ダイヤ改正
  - eコマース需要に合わせたブロックトレイン（積合せ貨物輸送のコンテナ列車）を新設
  - 需要の高い大型コンテナの輸送ネットワーク拡充

(2022年3月期の取組み)

- ・ 2022年春ダイヤ改正に向けブロックトレインの拡充に向けた提案
- ・ DXを背景として伸長しているeコマース・積合せ貨物・定温輸送ニーズ、安定的な需要の家庭用食料品・農産品等をターゲットにした営業



【2021年3月ダイヤ改正で新設されたブロックトレイン】



【2021年3月23日から運転を開始した4往復目となる福山レールエクスプレス号】



【2021年3月29日から運転を開始した2往復目となるカンガルーライナー】



# 総合物流企業グループへの進化

## ■ レールゲートと積替ステーション設置による貨物駅の結節点機能強化

(2021年3月期の取組み)

- ・ 東京レールゲートWEST (2020年3月営業開始) の本格稼働
- ・ 東京レールゲートEAST (2022年8月竣工予定) 建設推進
- ・ DPL札幌レールゲート (2022年5月竣工予定) の着工 (2020年7月)
- ・ 新座貨物ターミナル駅構内「積替ステーション」の新設 (2020年7月)

(2022年3月期の取組み)

- ・ 東京レールゲートEAST・DPL札幌レールゲートの建設推進
- ・ 移転後の仙台貨物ターミナル駅をはじめとする主要貨物駅へのレールゲート展開の検討
- ・ 「積替ステーション」の設置拡大



【東京レールゲート WEST (左) ・ EAST (右) (イメージ)】



【DPL札幌レールゲート (イメージ)】

# 新たな成長へ向かう不動産事業の展開

## ■ 自社用地による新規開発と外部物件購入による賃貸事業の拡大

(2021年3月期の取組み)

- ・ リノベーションした中里社宅の賃貸開始 (2021年3月)
- ・ 市場からの中目黒賃貸用マンションの取得 (2021年3月)

(2022年3月期の取組み)

- ・ 市場からの賃貸用マンションの新規取得
- ・ 新小岩分譲マンション販売 (2022年9月引渡予定) へ向けた準備



【新小岩分譲マンション (イメージ)】



【中目黒賃貸用マンション (イメージ)】



【中里社宅リノベーション】

# 新技術へのチャレンジ

## ■ 「スマート貨物ターミナル」の実現に向けた新たな技術の活用

(2021年3月期の取組み)

- ・手ブレーキ検知システムのコンテナ貨車への取付開始 (2021年2月)

(2022年3月期の取組み)

- ・運転支援システム (PRANETS) を活用した、運転士への列車編成通知情報提供機能の検証試験開始 (2021年6月予定)
- ・コンテナ持出持込時間予約機能等、スマートフォンを活用し駅構内荷役作業に関する情報連携を行うトラックドライバー用アプリの全国6駅での試運用開始 (2022年1月予定)
- ・駅構内トラック隊列走行の実現に向けた検証試験の実施

【トラックドライバー用アプリ】



貨物列車位置・遅延  
情報機能



コンテナ位置  
情報参照機能



駅からのお知らせ  
情報機能



ログイン画面



【スマート貨物ターミナル (イメージ)】

■コンテナ自動倉庫

■スマートゲート  
車両認証+積付検査  
ヤード内自動運転

■ドライバーアプリ  
到着時間予想  
構内自動誘導

■ターミナル集中管理センター  
(人・貨物・トラック・機関車・荷役機械)  
ワークスケジュール最適化  
リフト最適配置

■コンテナ管理最適化

■太陽光発電設備

■レールゲート物流センター  
駅~物流センター間コンテナ自動搬送  
自動仕分け/積替設備

■本線列車運転支援/自動運転  
■機関車状態監視  
■留置ブレーキ、コンテナ緊締装置自動化  
■入換機関車の遠隔操作

■コンテナ自動搬送車  
■無人フォークリフト

効率化・省力化

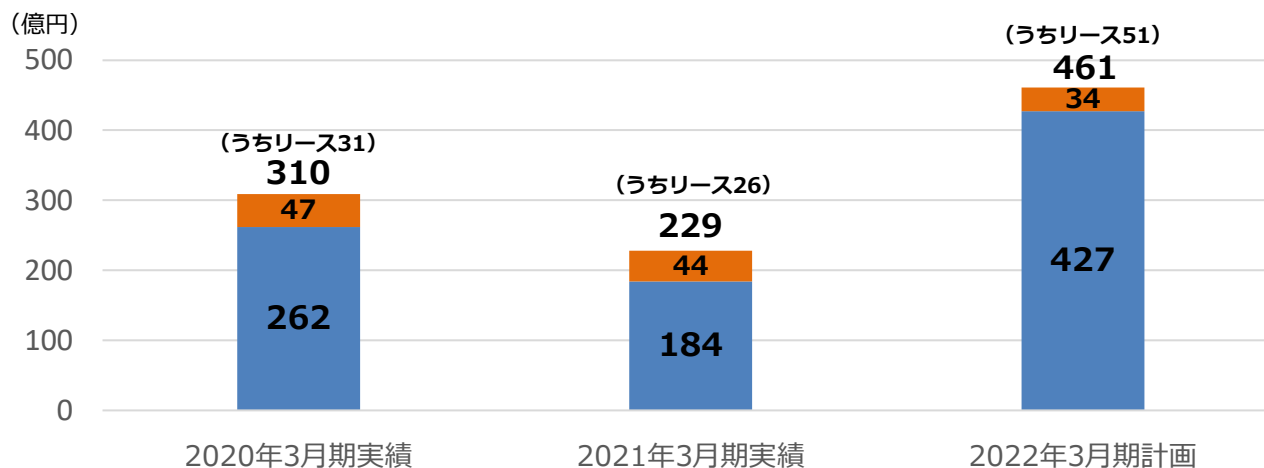
安全性向上

# 設備投資の状況

2022年3月期は、安全に資する投資を着実に実施するとともに、東京レールゲートEASTなどの総合物流企業グループへの成長に直結する投資やトラックドライバー用アプリなどのIT化・DX化を推進する投資を積極的に実施

## ■ 連結の設備投資額 (リース含む)

■ 鉄道ロジスティクス事業 ■ 不動産事業



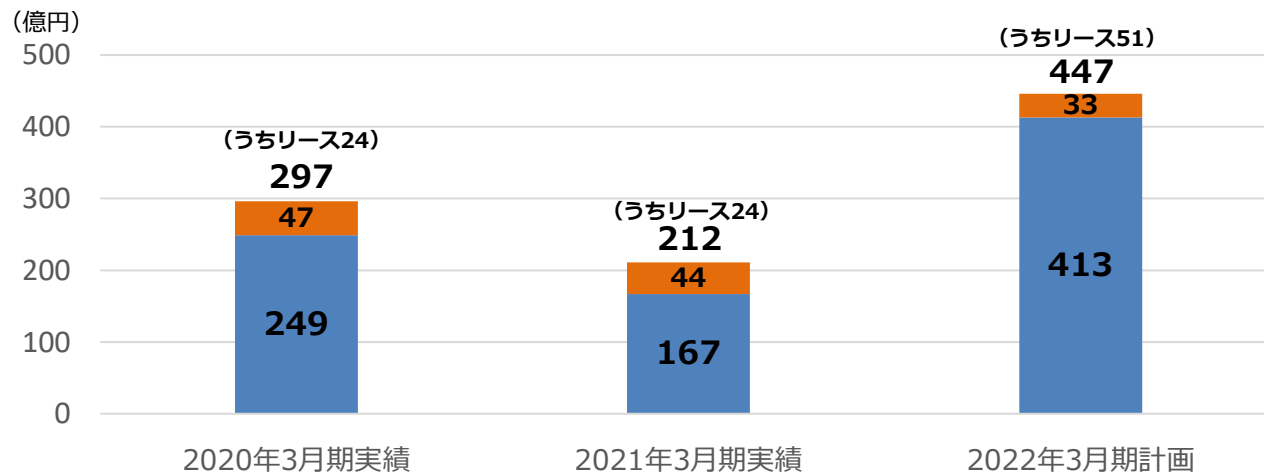
【EF210形式機関車】



【鉄まくらぎ】

## ■ 単体の設備投資額 (リース含む)

■ 鉄道事業 ■ 関連事業



【東京レールゲート EAST (イメージ)】

〔当社グループの事業系統図〕

